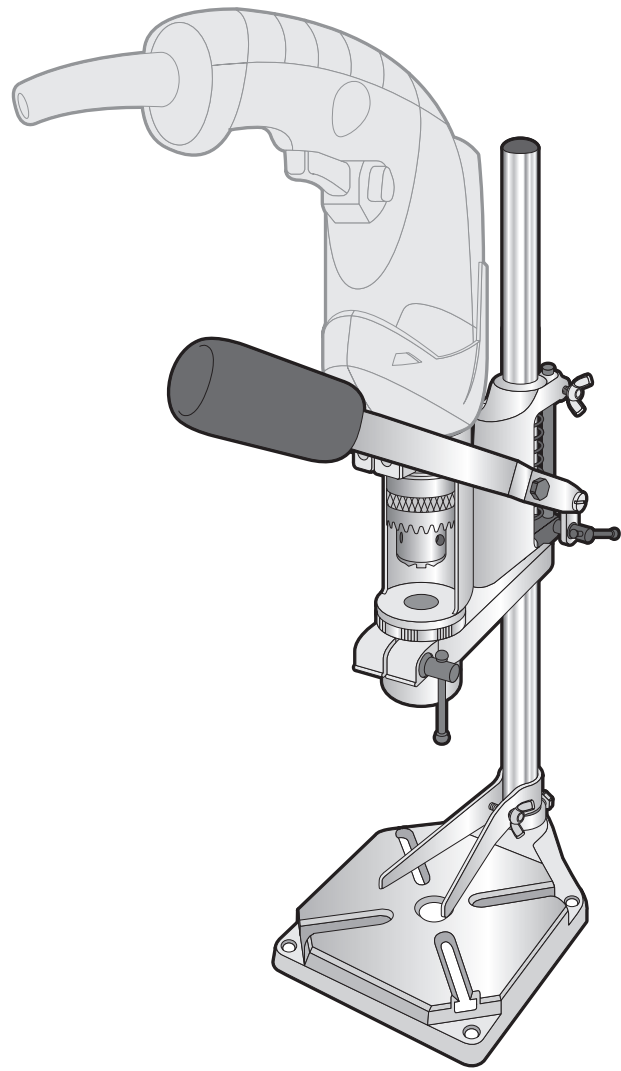




角ノミアダプター&ドリルスタンドⅡ

取扱説明書

SKDS-45S



この度は、SK 11 角ノミアダプター&ドリルスタンドⅡ SKDS-45Sをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をして、いつまでも安全に効率よくお使いくださるようお願い申し上げます。
尚、この取扱説明書はお手元に大切に保管しておいてください。

*外観及び仕様などは製品改良のため、一部変更することがありますのでご了承ください。

△ご使用上の注意事項

本製品は正しく使用されない場合、本体や錐先(角ノミ・ドリル)などが破損する恐れがあります。破損した場合、破片や被削材等が飛散し、重大な傷害事故を招くことも考えられます。必ず取扱説明書および警告文をお読みになり、充分ご理解いただいた上で、正しくご使用ください。

△警告

- 本機の改造や分解は絶対にしないでください。
- 本製品は木材の穴あけ加工以外には使用しないでください。
- 本製品は鋭利な刃先を有する角ノミを使用しています。作業時には怪我をしないように充分ご注意ください。
- 使用する電気ドリルにつきましては最高使用回転数(3600min⁻¹)を超えないようにしてください。
- 電気ドリルの使用法は電気ドリル本体の取り扱い説明書をよくお読みください。

使用前

- セット完了後、刃先の欠損、割れ、異常摩耗ならびに、本体の割れ、歪み、曲がりなどの異常がないことをご確認ください。製品のガタつきもないかをご確認ください。異常が認められた場合は使用しないでください。
- ご使用される前には毎回、取り付けネジの緩みがないか、電気ドリルとドリル(角ノミ)のチャック緩みがないかなど必ず確認をしてから作業を開始してください。
- 角ノミ取り付け後、無負荷回転し異常音や錐の振れや振動がないことをご確認ください。異常が認められた場合は、再度取り付けを調整し、異常がないことをご確認の上ご使用ください。
- 作業場のまわりをきれいに整理してから作業してください。まわりに物があると接触したり、人がいると作業時の部品や被削材の飛散による怪我の恐れがありますので充分ご注意ください。
- ご使用になる角ノミは当社指定の製品をセットしてご使用ください。当社指定以外の角ノミはトラブルの原因となりますのでご使用にならないでください。
- 取扱説明書の組み立て方法および使用方法に従い、よくご理解いただいた上でご使用ください。
- 本製品に適合しない機械でのご使用はおやめください。
- 角ノミの刃先を変えるような、再研磨や加工はおやめください。

使用時

- 必ず保護メガネ・防じんマスク・作業手袋などの保護具を着用してから作業を開始してください。
- ネクタイや袖口のしぼられていない服など巻き込まれる恐れがある服装では作業しないでください。
- 加工する材料は必ずクランプなどでしっかりと固定し、周りの安全を確認してからご使用ください。
- 本製品のベースを作業台などにしっかりと固定(クランプやボルトなどで)し、使用中に本製品が倒れることのないようにしてからご使用してください。
- 角ノミの刃先および回転中の刃物は大変危険ですので、絶対に触れないでください。
- 過度な押しつけなどの負荷は刃先の破損やハンドルの湾曲につながりますのでおやめください。

使用后

- 電気ドリルのスイッチを切り、完全に停止後、コンセントを抜いてください。
- 木屑等、汚れを取り除き、ボディとシャフト固定箇所及びハンドル稼働部などに潤滑スプレーなど吹き付け保管してください。

別売品のご紹介

JANコード	ブランド	品名	規格
4977292310895	SK 11	角ノミ	6.4mm(1/4")
4977292310901	SK 11	角ノミ	8.0mm(5/16")
4977292310918	SK 11	角ノミ	9.5mm(3/8")
4977292310925	SK 11	角ノミ	12.7mm(1/2")

(注) 本製品(SK 11角ノミアダプター&ドリルスタンドⅡ)を使用する場合は必ず左記の当社指定の角ノミをご使用ください。

適合する電気ドリル(振動ドリル)の紹介

JANコード	ブランド	品名	規格
4977292492003	E-Value	振動ドリル	EID-650VA(首径45mm)

(注) 必ず回転モードに設定してからご使用ください。

JANコード	ブランド	品名	規格
4977292220958	HI-STEEL	ボール盤バイス	75mm

※ボルト・ナット・平ワッシャーは市販のものを購入し取り付けしてください。

上記別売品は予告なく仕様変更やモデルチェンジする場合がございますのでご了承ください。



発売元

藤原産業株式会社

当社製品のご相談は…

情報サービスセンター ☎ 0794-86-8200

〒767-3043 広島県三木市塩井2115-1

製品をご使用になる時は、安全に心掛けて正しくお使いください。

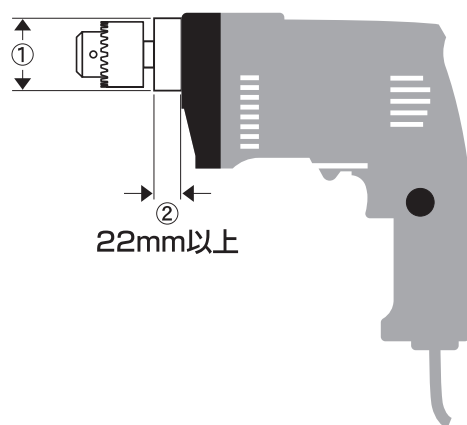
主要機能

- 穴あけ能力 最大角穴 12.7mm(1/2") 注) ①12.7mmの角穴あけの場合は、消費電力500W以上の電気ドリルをご使用ください。
最小角穴 6.4mm(1/4") ②別売品であるSK 11角ノミ以外は使用しないでください。

- 製 品 寸 法 高 さ 510mm(ハンドル取り付け時は560mm)
奥 行 380mm
ベ ー ス 寸 法 220mm×160mm×30mm
最大ストローク 60mm(ハンドルの稼動寸法)
質 量 3.6kg

※角ノミアダプターを取り外せば丸穴用としてボール盤同様に使えます。

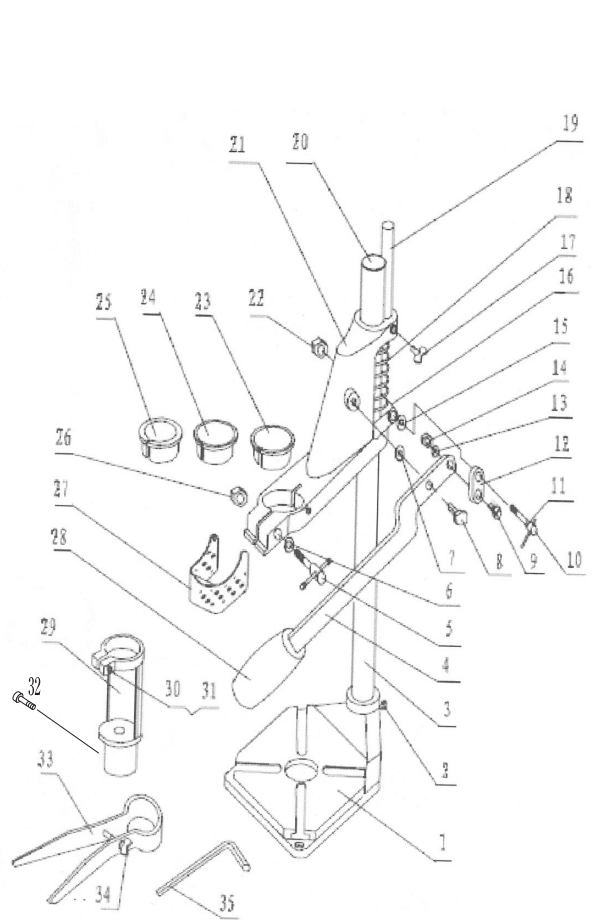
- 使用可能な電気ドリル(充電ドリルDVやインパクトDVでは使用できません。)



- 電気ドリルの首径(①の寸法)
●45mm(アダプターにそのまま装着)
●43mm(修正リング1mm厚を使用)
●42mm(修正リング1.5mm厚を使用)
●38mm(修正リング3.5mm厚を使用)

- 注) ①ドリルチャックが首径よりも太い機械は使用できません。
②ドリルの首部分が短い機械は使用できません。(22mm以上必要)
③ドリルの首部分がテーパーになっている機械や表面に凹凸がある機械は使用できません。
④機械のドリルチャックがキーレスタイプは使用できません。

各部の名称および通常付属品



部品No.	部品名	数量
1	ベース	1
2	支柱固定ボルト	1
3	支柱	1
4	ハンドル	1
5	ドリル用クランプボルト	1
6	ドリル用クランプボルト用ワッシャー(8mm)	1
7	ハンドル用ワッシャー(8mm)	1
8	ハンドル中間部用ボルト	1
9	ハンドル稼働部用平頭ネジ	1
10	支柱用クランプボルト	1
11	クランプボルト用スナップ	1
12	ハンドル稼働部パーツ	1
13	ハンドル稼働部ワッシャー(6mm)	1
14	ハンドル稼働部用ナット	1
15	支柱用ワッシャー(6mm)	1
16	深さ調整パーツ	1
17	深さ調整ネジ	1
18	スプリング	1
19	深さ調整ピン	1
20	支柱	1
21	ボディ	1
22	支柱用固定ナット	1
23	ドリル首径修正リング38mm用	1
24	ドリル首径修正リング42mm用	1
25	ドリル首径修正リング43mm用	1
26	ドリル用クランプボルト用ナット	1
27	飛散カバー	1
28	ラバーグリップ	1
29	角ノミアダプター	1
30	六角ネジM6×35mm	1
31	六角ネジM6×35mm用ワッシャー	1
32	六角ネジM6×25mm	1
33	押さえ金具	1
34	押さえ金具用螺ネジ	1
35	六角棒レンチ5mm	1

組み立て方法およびご使用方法



注意

- 本製品のベースを作業台などにしっかりと固定(クランプやボルトなどで)し、使用中に本製品が倒れることのないようにしてからご使用してください。

- ①ベースと支柱を付属の六角ボルトでしっかりと固定します。(図A)

角ノミ作業される場合は部品No.27の飛散カバーは使用しませんので取り外して大切に保管してください。ドリルスタンドとして使用の際に取り付けてご使用してください。

- ②ハンドル中間の穴に付属の六角ボルトを差し込み締め付けます。

その際に、図Bのようにまず、ボディ側にワッシャーをあてがい、ハンドルの穴に六角ボルトを差し込んでください。(図C)六角ボルトは最後までしっかりと締め付けてください。(図D)

- ③電気ドリルをアダプターに取り付けします。

- 電気ドリルの首をアダプターに差し込みます。(その時にドリル首径をご確認いただき、首径修正が必要な場合はリングを取り付けてからアダプターに差し込んでください。)(図E)
- 部品No.30の六角ネジを付属の六角レンチで締め付けて、(No.31のワッシャーをはめ込み)しっかりと固定します。(図E)

- ④角ノミをアダプターに取り付けします。

- 指定の角ノミをアダプターの下から差し込み、部品No.32の六角ネジを締め付け固定します。(この時に切り粉排出窓が正面に向くように取り付けしてください。)(図F)
- センタードリルを角ノミ刃先(下方向)から差し込み、電気ドリルのチャックに差し込み固定します。(この時にセンタードリルの突き出し量が右図のようになるようにセットしてください。)(図G)

材料の硬さや厚みによりセンタードリルの最適な突き出し量は変わってきます。角ノミが上手く材料に入っていない場合は、突き出し量を何度か調整してください。センタードリルの突き出し量は1~2mmが標準ですが、硬い材料の場合3mm程度出さなければスムーズに穴あけできる場合がございます。

- センタードリルの突き出し量が出すぎる場合は、部品No.32の六角ネジを緩め、角ノミを少し下方向にずらして再度固定してください。

注) 角ノミ及びセンタードリルの刃先は大変鋭利になっておりますので、手袋などを装着して十分注意して取り付けしてください。角ノミ・センタードリルの刃先を傷めないように刃先下には木材などをあてがってから取り付けを行ってください。

- ⑤押さえ金具の使い方

押さえ金具は角穴をあけ終わって角ノミを上げる場合、木材が角ノミと一緒に上がるのを防ぐ役目をしています。取り付けは角穴を連続してあける場合に、移動しやすいように材料と1mmぐらい、隙間をあけて固定してください。(図H)

- ⑥ボディの高さ調整(ベースとドリルとの距離を変更する)
支柱クランプボルト(部品No.10)を緩め、ボディを必要な位置へ移動し、しっかりと固定してください。(図I)

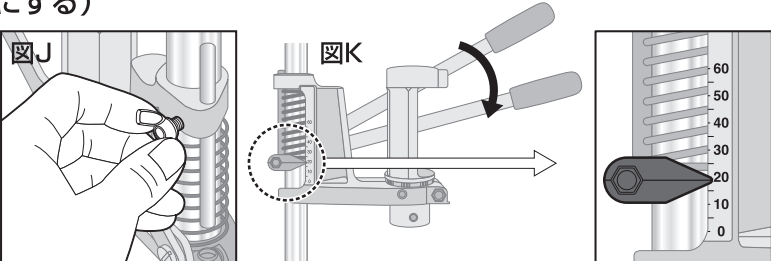
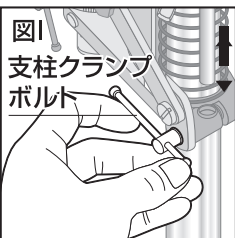
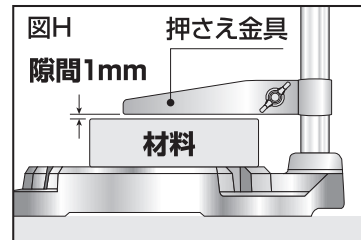
- ⑦穴あけ深さ調整方法(穴あけ深さを一定にする)

例) 穴あけ深さ20mmに設定する場合

- ①深さ調整螺ネジ(部品No.17)を緩めてください。(図J)
- ②ハンドルを押し下げ目盛20ラインで保持したまま、深さ調整螺ネジを固定してください。(図K)

- ⑧その他

バイスの取り付け方法
市販のボール盤バイス(75mm程度)をご購入いただき、ボルト・ナット・平ワッシャーなどでベースに取り付けてください。
(ボルトはM8サイズ以下でご使用ください。)



お手入れ方法
ご使用後はボディとシャフト固定箇所及びハンドル稼働部などに潤滑スプレーなどを吹き付け保管していただきますと、次回使用時にスムーズに作業ができます。